

〔第6学年〕

1、単元名 自分の考えを明確にしながら読もう 「イースター島にはなぜ森林がないのか」(東京書籍)

2、単元目標

- 題名に興味を持って読み、進んで感想や筆者の主張に対する自分の考えを出そうとする。
(関心・意欲・態度)
- 事実と意見を区別して、自分の考えを明確にしながら筆者の考えを読み取ることができる。
(読む能力)
- 環境問題について書かれた文章に興味を持ち、進んで読もうとするとともに、読み取ったことをもとに
お互いの意見を交流させることができる。
(話す・聞く能力・学校図書館の利用)

3、準備するもの

児童：図書ファイル、国語の本、ノート、付箋

図書館：共通図書「よみがえれりもの森」、ワークシート、国語辞典、百科事典

4、単元計画(全7時間)

第1次…単元のねらいを把握し、全文章を3つのまとまりに分ける。(1時間)

第2次…事実と意見を区別しながら読み、課題提文に対応する情報を確認したり、筆者の説明を吟味したりする。(3時間)

第3次…筆者の主張を確認し、全体の要旨をまとめ、主張に対する自分の考えを述べ合ったりする。(1時間)

第4次…「よみがえれりもの森」を読み、これまでに学習をしたことや経験したことをもとに自分の考えを述べる。(2時間) 本時2/2

5、本時の学習

① ねらい

○環境に関する本に関心を持ち、進んで読もうとする意欲を持つ。(関心・意欲・態度)

○これまで学習したことや友だちの意見を聞き根拠を明確にしながら自分の考えを述べることができる。
(読む能力)

② 展開

学習活動と予想される児童の反応	担任の支援	図書館の支援
1、これまでの学習をふり返り、 今日のめあてや話し合いの仕方 について知る。(7) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">自分の意見を発表し合いグルー プの考えを深めよう</div>	○対話を通して感想を深めてい く活動であることを伝える。 ○ワークシートに記入できてい ない児童は事前に把握してお く。	○話し合いをする際の約束を確 認する。 ①うなづく ②友達の発言に質問をし、比べ

<p>2、話し合いをする。(25)</p> <p>グループで役割ごとに自分の意見を述べ、それに対して考えを出し合う。</p> <p>・砂漠を緑化するために17年かかったんだ。本当にすごいと思うな。</p> <p>私もそれはすごいと思ったよ。だって、諦めずにゴタを敷き詰めたんだもん。</p>	<p>○それぞれの発言に対して、質問をしたり、感想を述べたりするように声を掛ける。</p> <p>○話し合いの趣旨から話がずれてしまった場合には、本教材とのつながりを意識させる。</p> <p>○説明をする際に根拠が明確でない場合には、「どこからそう思ったのか」と質問をする。</p> <p>○「イースター島にはなぜ森林がないのか」と考えが結び付けるように促していく。</p>	<p>ながら自分の考えを発言するようにする。</p> <p>③相手を否定しない。</p> <p>※対話の進め方</p> <p>・役割ごとに自分の書いたことを説明する。</p> <p>・友だちの質問には必ず答えるようにする。</p> <p>○似た考えを整理しながら、話し合いを深めていく。</p>
<p>3、グループで発表する。(6)</p> <p>・「比べ屋」さんがイースター島との違いをしてくれたので、えりもの人たちは、子孫の幸せことも考えたからがんばれたんじゃないかということに気が付きました。</p>	<p>○話し合いをして特に考えが深まった部分を発表するように声をかける。</p>	
<p>4、本時のまとめをするとともに、「人と自然との関わり」について書かれている本について知る。(6)</p>	<p>○「人と自然の関わり」について、本を読んで調べ、他教科などでも積極的に考えていくことが大切であることを述べる。</p>	<p>○図書館司書が「人と自然との関わり」について書かれている本を紹介する。</p>

6、評価

リテラチャーサークルを取り入れたことは、どの児童も積極的に発言するための手立てとして有効であったかどうか。

7、考察

① リテラチャーサークルの手法を取り入れたことについて

「人と自然との関わり」についての作品を読み味わうことで、自分の考えを持たせていけるようになるために読書会を単元の中に設定した。グループで4つの役割を決め共通の本をそれぞれの視点で読み深めていくというリテラチャーサークルの手法を用いて進めた。その役割とは「みんなに質問したいこと(質問屋)」「本を読んですごいなあとおもったところ(すごい屋)」「心に残った会話(会話屋)」「『イースター島にはなぜ森林はないのか』とを読み比べて考えたこと(比べ屋)」である。

グループの話し合いの中では、50年かけてえりものもりを再生させようと努力した人たちの姿に感動したことを伝える児童もいた。また、イースター島にはなぜ森林はないのかと読み比べて、「イースター島では祖先のためにモアイ像をつくったけど、えりもの話では子孫のことを大切に思っていたから森林の再生ができたんだ」とその違いを見つけ説明をする児童もいた。さらに、2つの本を読み比べる活動を通して、「イースター島にはなぜ森林がないのか」に書かれていた「子孫に思いをめぐらせる」という言葉の意味を理解した児童も

いた。そして、東日本大震災のボランティア活動とも関連付けながら、今こそ未来のために具体的に自分達も行動をすべきだと述べている児童もいた。友達の話聞きながらその考えの根拠を探すことでさらに読みが深まった児童もいた。読む能力に個人差がある本学級のような実態では、リテラチャーサークルの手法は読みを深め、自分の考えを持たせるためには非常に有効であると実感した。

一方で、本時では「相手に分かりやすく話すこと」と「教材を読み根拠を明確にして自分の考えを持つこと」の2つのねらいがあった。そのために何を気をつけていいのか迷っていた児童もいた。また、自分の考えを持つ際に、「よみがえれりもの森」を中心に自分の考えを深めている児童もいた。また、「イースター島にはなぜ森林がないのか」を読み比べたりや日常生活を想起したりして自分の考えを広げていく児童もいた。グループによっては話し合いの焦点が定まらず、意見を深めるというところまでは行かなかった。学習指導要領の中には「目的や必要に応じて…読むこと」と示されている。「よみがえれりもの森」を何のために読むのか、そして何を考えるのかという目的意識を明確に持たせる必要があったと考える。その上で、本時では2つの本を読み比べるのではなく、「よみがえれりもの森」をしっかり読み、それに対しての考えを持たせた方がより話し合いが深まったと考える。



② 担任、司書教諭、図書館司書の役割について

○ 個別の支援について

本学級には、言葉の意味を理解することが難しく、文章を読み取ることが困難なA児がいた。本单元の中で、司書教諭が「1日に10m掘り進めるというのは、どれくらい大変な事なのか」をイメージしやすいように説明をしたり、図書館司書に百科事典などで教科書に出てくる言葉の意味を教えてもらったりした。その結果、A児が、本時では「1日に10mしか作業ができない硬い地面を掘ったりして、50年もかけて森をよみがえらせようとしたことがすごいと思った」と教材を読み取ることができた。事後のアンケートでも「担任、司書教諭、図書館司書の3人で授業をするととても分かりやすい」と述べていた。また、A児は1学期の特に心に残ったこととして、「よみがえれりもの森」を読んで自分の意見を言えたことをあげていた。司書教諭や図書館司書と連携して授業を行ったことは、A児だけでなく、多くの児童が言葉の意味を理解したり、根拠を明確にして話をしたりする上で有効であったと考える。

○ 役割分担について

本单元では、司書教諭にリテラチャーサークル進め方の説明をしてもらった。また、図書館司書には人と自然との関わりに関する本の紹介をしてもらった。担任だけでは、リテラチャーサークルに関する教材や適切な本を準備し説明をすることは難しい。今回のように役割を決めて進めていくことで、児童にとってより効果的な学習が進めていくことができると実感した。

③ 系統的なスキル学習について

児童は5年生の時に国語辞典の使い方、6年生になり図鑑や百科事典の使い方について学習してきた。本单元では、「ポリネシア人」や「無尽蔵」など耳慣れない言葉がたくさんあり国語辞典や百科事典を利用した。しかし、活用する能力には個人差があり、国語辞典で調べても、書いてある内容が理解できないということがあった。そのため、事前に難しい語句については調べておき、その写真や絵を掲示し、理解できるようにした。

学習指導要領の改訂に伴い、教科書に児童にとって耳慣れない難しい語句が多く掲載されている。低学年のうちから系統的に学校図書館を活用できる力を育成する必要があると実感している。さらに、国語科にだけでなく、全教育活動において、文字に慣れる環境づくりを進めることが大切であると考えられる。

6年生 リテラチャーサークルの様子

質問屋

「よみがえれえりもの森」を読んで疑問に思ったことを友達に質問をします。

役割シート① 質問屋（しつもんや）

本の名前『よみがえれえりもの森』

6月27日 2時間目
名前（ ）

質問屋の役割は、グループで話し合ったらいよいよ質問をめぐらします。例えば、登場人物（話に出てきた人）、ストーリーについて、なにかに思ったことや感じたことなどについて質問をします。作者に聞いて見たいこともあつねね。
そんなことを質問の形で、「どう書きましたか？」

例「イースター島にはなぜ森林がないのか？」
なぜ、千六百年前に森林があったことが分かるのか。
ポリネシア人達はどのようにして他の島に住まなかつたのだろうか。
ポリネシア人達の祖先の敬い方は正しかったのだろうか。正しくなかつたのだろうか。

○質問
なぜえりもの森がなくなつてまたのちうかまたえれば何とよてなななしてましたのちうか。
自分が考える答え（書かなくてもいいです）
① イースター島もえりもの森がなくなつたのちうか
② えりもの森がなくなつたのちうか
③ えりもの森がなくなつたのちうか
④ えりもの森がなくなつたのちうか
⑤ えりもの森がなくなつたのちうか
⑥ えりもの森がなくなつたのちうか
⑦ えりもの森がなくなつたのちうか
⑧ えりもの森がなくなつたのちうか
⑨ えりもの森がなくなつたのちうか
⑩ えりもの森がなくなつたのちうか

えりもの人たちはなぜ、ふるさとを蘇らせようとしたのだろうか。



比べ屋

「イースター島にはなぜ森林がないか」と「よみがえれえりもの森」を読み比べて考えたことを紹介します。

えりもでは最初は森はゼロになったけど、みんなですれを戻そうとしたことがすごいと思いました。

役割シート④ 比べ屋（くらべや）

本の名前『よみがえれえりもの森』

6月27日 2時間目
名前（ ）

ちがうところ	同じところ
<p>『よみがえれえりもの森』 森林をよみがえれえりもの森とした 木々がもどってきた</p>	<p>『よみがえれえりもの森』 人がふるさとをよみがえれえりもの森とした 人がふるさとをよみがえれえりもの森とした</p>
<p>『よみがえれえりもの森』 森林をよみがえれえりもの森とした 木々がもどってきた</p>	<p>『よみがえれえりもの森』 森林をよみがえれえりもの森とした 木々がもどってきた</p>

○考えたこと
この本は、最初は森林はゼロでしたが、みんなですれを戻そうとしたことがすごいと思いました。
『よみがえれえりもの森』は森林をよみがえれえりもの森としたことがすごいと思いました。
『よみがえれえりもの森』は森林をよみがえれえりもの森としたことがすごいと思いました。



